

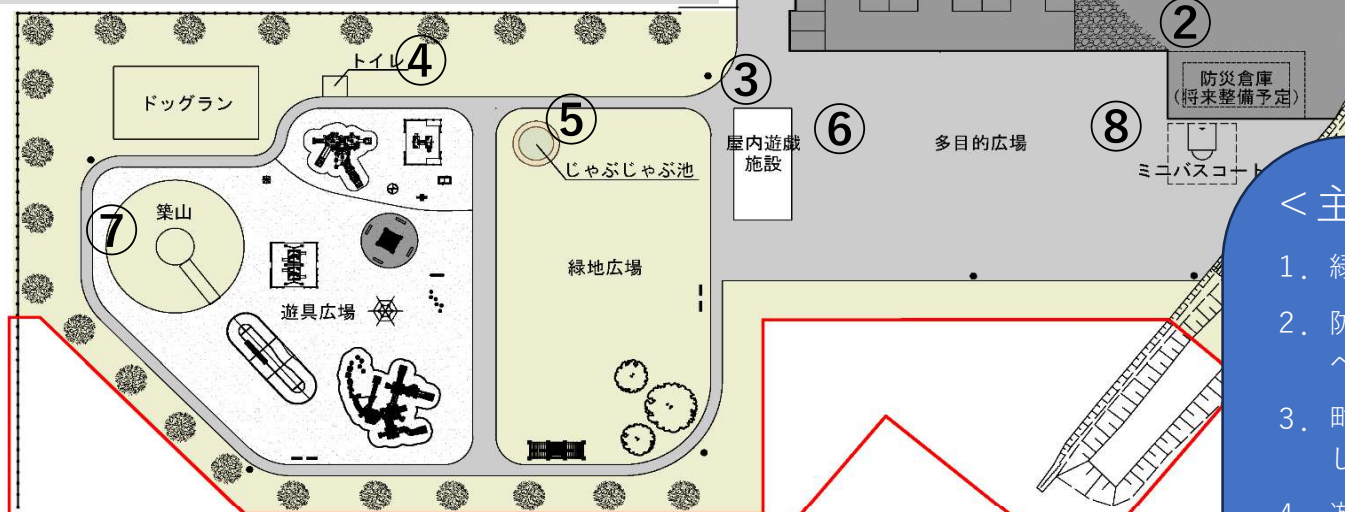
見直しに係る考え方

今回の整備内容の見直しにあたり、様々な町民の声を聞かせていただき、役場内の検討委員会などで検討を重ねた結果、子育て世代の方々から要望が多い「子どもが安心して遊べる場所」、中心部に新たに公園を整備することが、賑わいの創出、次世代の成長支援にもつながるなど、まちの未来に必要であると判断いたしました。

また、町議会特別委員会からの提言を受け、緑地面積を大幅に削減し、事業費と維持管理費の圧縮に努めました。防災倉庫の建設は財源なども含めて継続検討としたところですが、防災対策の緊急性や重要性は十分認識しているところであり、公園の完成後は町の「一時避難場所」として指定する予定です。

見直しにより、当初予定していた機能の一部は縮小することとなりましたが、コンセプトに掲げた「多くの町民に愛される広尾らしい多目的公園」、そして「みんなの笑顔があふれる遊び場」を目指し、整備を進めていきます。

公園整備事業の見直し内容



①

緑地削減面積 10,554 m²
※線で囲んだ部分



公園整備構想について、
詳しくはこちらから
トップページ>行政情報>各種取組

<主な変更点> ※図の丸数字と対応

1. 緑地を約1万平方メートル削減
2. 防災倉庫の建設を令和10年度以降に再考し、かまどベンチなどの防災設備を削除
3. 町民交流施設をキッズスペースとトイレをメインにした「屋内遊戯施設」に変更
4. 遊具エリアのそばに小規模トイレを設置
5. じゃぶじゃぶ池のサイズを小さくし、噴水式に変更
6. エントランス広場を削除し、多目的広場と一体化
7. 築山を大小2つから大1つに変更
8. バasketコートはミニバス用1か所

※緑地の削減に伴い、レイアウトや設備数を変更